

## 7月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和6年7月22日（月）
開催時間	午前10時00分
開催場所	市役所本館 8階 第2委員会室
出席委員	浦上 教育長 村本 教育長職務代理者 水野 委員 岩井 委員 藤井 委員
出席職員	太田副教育長・塚本教育監・辻内次長・川添教育政策課長・黒井学校教育推進課長・齊藤人権教育課長・山本学務給食課長・辻本教育センター所長・谷桂青少年会館長・岸安中青少年会館長・一ノ本理事

【浦上教育長】 皆さん、おはようございます。

それでは、7月の定例教育委員会を開催したいと思います。よろしくお願いいたします。  
まず、本日の会議録署名委員に村本委員を指名しますので、よろしくお願いいたします。  
なお、本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第14条第3項に規定する定足数を満たしているため、成立していることをご報告いたします。

### 1 {6月定例会会議録の承認}

【浦上教育長】 それでは、次第の1、6月の教育委員会会議録の承認につきまして、審議をいたします。

委員の皆様方、何か質疑ございませんでしょうか。特にはないですか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員異議なしと認めます。よって、6月の定例会議録につきまして、承認と決しました。

### 2 {教育長及び教育委員の報告}

【浦上教育長】 それでは、次第の2に入ります。教育長及び教育委員の報告に移ります。  
まず、教育長報告ですが、お手元配付の資料のとおりでございます。ご確認ください。

6月 24日 (月)	定例教育委員会
6月 27日 (木)	予算決算常任委員会 (全体会)
〃	第1回 中河内地区人事協議会 (中河内府民センター)
7月 1日 (月)	社会を明るくする運動 (成法中学校)
〃	大阪府教育庁市町村教育室との意見交換会
7月 2日 (火)	部長会
〃	デジタル戦略推進本部会議
7月 3日 (水)	6月市議会定例会本会議 (第4日)
7月 5日 (金)	青少年健全育成八尾市民会議
〃	大阪府都市教育長協議会7月定例会 (アウィーナ大阪)
7月 6日 (土)	第30回「熱と光を! 中学生フォーラム(熱中フォーラム)」 (大阪府立労働センター)
〃	第63回 八尾美術展表彰式 (生涯学習センター)
7月 8日 (月)	指導主事・主査等学習会 (講話)
7月 9日 (火)	社会教育委員会議
7月 10日 (水)	令和6年「交通事故をなくす運動」八尾推進本部総会
〃	大阪・関西万博 府庁説明会 (咲洲庁舎)
7月 11日 (木)	八尾市防犯協議会第68回総会
7月 12日 (金)	令和6年度 中核市教育長会総会・研修会 (東京都・都市センターホテル)
7月 14日 (日)	第36回八尾市吹奏楽フェスティバル (八尾市文化会館・大ホール)
7月 17日 (水)	定例教育委員協議会
7月 18日 (木)	安中小学校 花いっぱい運動 (市長表敬訪問)
7月 20日 (土)	八尾地区保護司会創設70周年記念大会 (八尾市文化会館・小ホール)
7月 21日 (日)	第29回 八尾市こども会親善つな引き大会 (八尾市総合体育館)

【浦上教育長】 各教育委員の皆様から、この間の活動報告等ありましたら、随時お願いしたいと思いますが、どうでしょうか。

【岩井委員】 6月26日(水)13時から桂小学校、7月1日(月)13時30分から北山本小学校、7月3日(水)10時20分から高安小中学校で行われました小規模特認校の見学会に参加させていただきました。

今回は、小規模特認校制度が始まって3年目の見学会ですが、毎年、工夫しながら、特色ある魅力ある学校づくりの様子をしっかりと伝えよう、発信しようと、各学校も教育委員会も力を合わせて一生懸命頑張っていたらいいなと感じました。

そして、施設見学会とともに、授業をはじめ、休み時間や放課後等、様々な活動をしている子どもたちの様子を実際に見せていただくことが出来て、その学校ならではの魅力や特色が、見学に来られた保護者の皆様の心に、より一層強く響いたのではないかと感じています。

今年も見学会の後、たくさんの質問が出ましたし、事前に質問を準備して見学に来てお

られる熱心な保護者の方もおられて、非常に手ごたえを感じる見学会だったと思います。

一方、制度開始から3年目となり、小規模特認校の課題もはっきり「見える化」してきたように思います。今後は、PDCAサイクルを回し、制度の効果検証をしっかりと行って、次への方向性を出していくことが急がれると思います。児童生徒数推移の観点、特色づくりの観点、外部人材活用の観点、施設老朽化の観点、通学の観点、制度の周知の観点等、多様な観点からの検証をよろしくお願いいたします。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他の委員の皆様はいかがでしょう。

【水野委員】 現在、本学にナミビアの留学生が文科省の派遣で来ております。その留学生を連れて、高安小中学校の校長先生・副校長先生のところへ行き、当該校の7年生に授業をさせていただきました。約20分程度、ナミビアの国の歴史を話させていただきました。例えば、ナミビアは1990年代に独立をしたことや、部族がとてもしっかり存在することや、部族が利用する言語などについて話をしました。また、留学生が部族の挨拶に係る説明をしたのですが、その7年生の英語の先生が非常にいい授業を展開してくださり、約20分の留学生の発表をファシリテーターとして上手に留学生の話を広げていただけていました。生徒達は留学生に対して、例えば有名人は誰がいるんですかなどの質問を何とか英語で一生懸命発音すると、先生がそれを黒板に板書し、生徒達が持っている知識を結びつけるような授業展開をされていて、とても有意義な授業でした。今回の授業を経験し、これまでと授業の在り方が変わってきたなと感じました。高安小中学校の7年生の英語教育を実体験することができて、大変勉強になりました。このような授業方法が、これから広がっていけばいいなというふうに感じました。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他の委員の皆様はいかがでしょう。

【藤井委員】 私も、7月1日（月）13時30分から八尾市立北山本小学校、7月3日（水）10時20分から高安小中学校で行われました小規模特認校の見学会に参加させていただきました。

まず、北山本小学校ですが、今年は子どもを連れた多くの保護者が参加されていたという印象を受けました。やはり子どもが学校見学に興味津々で、保護者も熱心に説明を聞かれながら、子どもの視線や興味を持つところに注目をしていました。やはり保護者としても、子どもと一緒に見学される方が、イメージが湧きやすいのだと感じました。1年生の体育館での体育の授業も見学させていただいたのですが、今後、小学校に入学する予定の子どもたちが、現在の1年生の子どもたちのマット運動の姿を見て、「楽しそう」と言っていて、ニコニコ笑い、自分もやってみたいと感じました。とても良い雰囲気で見学会が行われていたと思います。

次に、7月3日（水）の高安小中学校ですが、こちらで印象的だったのは、外国人教師による英語の授業でした。当日は、偶然だったと思いますが、初めて子どもたちに授業を教える先生が来られていました。授業はクイズ形式で行われており、先生が出す質問に子どもたちが回答するようなものでした。

また、当日は保護者が6組ほど参加されていたかと思いますが、非常に熱心に話を聞か

れていました。保護者から質疑応答もありました。質問は様々あり、例えば送迎に関する  
こと、放課後児童室の時間帯のこと、またICT教育に関することなど、細かなことまで  
質問されていて、見学会は本当に有意義に終わったのではないかと思います。

【浦上教育長】 どうもありがとうございました。他には、どうでしょうか。今、小規模  
特認校の説明会・見学会に、教育委員の皆様も参加いただいた報告がありましたが、事務  
局側はこの制度を実施して3年目を迎えるにあたり、少し報告してください。

【黒井学校教育推進課長】 今週の土曜日に、桂小学校において2回目の施設見学会を予  
定しており、それが終了するタイミングで資料も含めて整理し、改めて教育委員の皆様  
に報告させていただこうと考えております。小規模特認校の施設見学や活動見学の方法につ  
いても、複数年実施してきた経過がありますので、保護者に授業の様子を見ていただく流  
れなども、当初に比べて随分スムーズになってきているかと思えます。昨年度から、見学  
会の対象学年を1学年広げて、次の年度に入る学年だけではなく、さらに1年前の入学予  
定者を対象者として拡大しました。その結果、昨年度に見学に来られていた方が、今年度  
はもう小規模特認校へ入学するかどうかを決めないといけない年度ということで、子ども  
を連れて、もう一度見学会に参加しましたという家庭もありました。岩井委員の活動報告  
からの発言にもありましたが、しっかりと今年度の成果や課題を分析しながら、次年度に  
繋げていきたいと思っております。多くの方々に施設の見学へ来ていただいて、授業の様  
子を見ていただき、それから質問についても、先ほど藤井委員の報告活動の発言にもあつ  
たように、本当に様々な質問がありましたので、そういったところを踏まえつつ、制度を  
より良いものにできるように取り組んでいきたいと思っております。

また、今年度は、既に小規模特認校へ入学されている保護者へのアンケートを予定して  
おりますので、しっかりと3年から5年のスパンで、この事業の見直しも含めて効果検証  
を進めていきたいと考えております。

【浦上教育長】 ありがとうございます。小規模特認校制度が始まる頃は、イメージし  
てもらったための説明会という感じでしたが、毎年、事務局で試行錯誤しながら、子ども  
たちが活動している様子も見てもらわないとイメージができないのではないかと  
改善に努めています。見学会毎にアンケートを実施する中で、放課児童育成室の状況も知  
りたいなど、様々なご意見があり、事務局も保護者へ子どもが望んでいることが徐々に見  
えてきました。そのため、年度を重ねるごとに、できるだけ保護者や子どもたちが理解し  
てもらえるような内容に変化してきたと私は思っています。教育委員の皆様からも、制度  
をより良くするためのご提案がありましたら、後日で結構ですので、ご助言いただければ  
と思います。

他には特にないでしょうか。ないようですので、次に移りたいと思えます。

### 3 { 議案審議 }

【浦上教育長】 次は、次第の3ですが、議案審議に入っていきますが、本日審議をいた  
します議案のうち、議案第25号「八尾市生涯学習センター条例の一部改正について市議会

議案提出の件」につきましては、関係資料が八尾市の情報公開条例第6条第4号に規定する、市の機関内部の意思形成過程における情報に該当するために、公開が可能な時期が来るまでは非公開とすべきものでありますので、本件に係る審議は非公開としたいと思います。委員の皆様方、それでよろしいでしょうか、

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員、異議なしと認めます。よって、議案第25号につきましては、非公開で審議をすることといたします。

議事の進行の都合上、この案件につきましては、他の議案の審議が終了次第行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

では、議案の審議に入ります。太田副教育長、川添教育政策課長は前の席へお越しくください。それでは、議案第23号「令和6年度教育委員会の点検及び評価に関する件」について、審議をいたします。提案理由を川添課長から説明願います。

【川添教育政策課長】 それでは、議案第23号「令和6年度教育委員会の点検及び評価に関する件」について、ご説明いたします。

令和6年度八尾市教育委員会点検・評価報告書の冊子をご覧願います。

本件は、教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第5号の規定により、委員会の議決を求めるものでございます。

提案の理由といたしましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、本市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表する必要があるため、本案を提出するものです。

教育委員会では、平成20年4月から、毎年、本市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表してきたところです。

本年度につきましても、八尾市教育振興基本計画の実現を図るため、同計画の進行管理についても、本報告書の中に掲載し、一体的に実施していくものです。

それでは、本年度の点検・評価報告書について、概要を説明させていただきます。

3ページをご参照願います。

「評価の対象年度」は、「八尾市教育振興基本計画（前期計画）」の進行管理の3年度目にあたる令和5年度です。「評価の方法」としましては、教育委員会事務局が自己評価した内容を基に、教育長及び教育委員で点検及び評価を行ったのち、学識経験者の知見も活用しながら、点検・評価を行い、報告書を作成してまいりました。

なお、「学識経験者」につきましては、昨年度と同様に、京都女子大学発達教育学部教授 森久佳氏、和歌山大学教育学部教職大学院准教授 宮橋小百合氏にお願いをいたしたところでございます。

続きまして、4ページをお開きください。4ページから7ページには、教育委員会の構成や活動状況を記載しております。

次に、8ページをお開きください。8ページから10ページの「3 八尾市教育振興基本

計画の進行管理」では、4つの基本方針、13の施策、64の事務事業を一覧に整理しております。

次に、施策及び事務事業の実績シートの見方について御説明いたします。11ページをお開きください。「①施策の実績評価」では、基本方針ごとに、「令和5年度における主な取り組みの方向性」を記載し、それを受けて、施策ごとに取組を進めた結果としての「成果・課題」、そして、その内容を踏まえた「今後の展開」を記載しております。なお、「参考指標」につきましては、施策の達成状況を測る物差しとして施策ごとに設定しており、基準値として令和元年度の実績値、令和3年度から令和5年度の計画値及び実績値、また、目標値に対する令和5年度の達成度を記載しております。

次に、12ページをお開きください。「②事務事業の実績」では、事業ごとに、令和5年度の実績を記載しております。なお、報告書では、30ページから45ページに記載しておりますので、施策の実績評価を行う上での御参考としていただきますようお願いいたします。

続きまして、13ページから29ページの施策の実績評価について、令和5年度における主な取組を中心にご説明いたします。

まず、「基本方針1 夢に向かってチャレンジし、未来を切り拓く力を育成します」は、13ページから19ページに記載しておりますが、17ページの「施策1-4 健やかな体の育成」では、令和5年9月から中学校全員給食を実施するとともに、中学校給食費の無償化を実施しました。また、小学校給食費の無償化を1年間延長して実施し、児童・生徒の成長に必要な栄養価や摂取量を確保した給食の提供を行いました。また、19ページの「施策1-5 子どもたちの人権を守る教育の充実」では、「いじめをしない、させない、許さない」環境の醸成を図るため、「脱いじめ傍観者教育」や「八尾市こどもサミット」を実施しました。

続きまして、「基本方針2 学びを支えるセーフティネットを構築します」は、20ページから22ページに記載しております。

まず、21ページの「施策2-2 教育相談および教育支援体制の充実」では、不登校や問題行動等の課題解決に当たり需要が高まっているスクールソーシャルワーカーを、令和4年度以降、9名配置し、子ども・保護者への支援体制の充実を図りました。スクールソーシャルワーカーの継続的な支援によって少しずつではありますが、課題改善率は好転しており、不登校児童・生徒の課題改善、社会的自立につながりました。

また、22ページの「施策2-3 学びと育ちの経済的支援」では、大学生等への奨学金給付事業について令和5年度途中より募集を開始し、応募には至らなかったものの、令和6年度の事業実施に向けて、関係機関や市内高校にさらなる周知を図りました。

続きまして、「基本方針3 生涯にわたって学びを重ね、人生を豊かに生きられる環境を整えます」は、23・24ページに記載しております。

23ページの「施策3-1 人生100年時代を見据えた生涯学習社会の実現」では、生涯学習センターにおいて実施されたフェスタかがやき2024において、「まちなかの達人体験コーナー」で7名の達人に出演してもらい、達人の活躍の場を創出しました。

図書館では、日常生活の課題解決や読書に親しむための事業を実施したことにより、来館者が増加し、また、市立学校の全児童・生徒が、学習者用端末で八尾電子図書館を利用できるよう読書環境の整備を進めました。

続きまして、「基本方針4 地域とともに、社会の変化に応じた教育環境をつくりま

す」は、25ページから29ページに記載しております。

26ページの「施策4-1 教育環境の整備・充実」では、令和5年4月から小規模特認校制度及び指定校変更の弾力的な運用を開始し、小規模特認校の各校では、特色ある教育活動を展開し、魅力ある学校づくりを進めることができました。また、様々な機会を通じて、制度や教育内容を周知することで、令和6年度の入学につなげることができました。

次に、29ページの「施策4-4 学校・家庭・地域の連携・協働の推進」では、地域とともにある学校づくりを推進するため、関係課による検討会議を開催し、情報共有や今後の方向性等について検討しました。

また、家庭教育に関する学習・啓発については、各小学校とPTAとが連携の下、各地域で顕在化している家庭教育や子どもの育ちに関する諸問題を認識し、その解決に向けて行動を起こすきっかけづくりとして、家庭教育学級事業を展開しました。

続きまして、46ページから49ページは、学識経験者の総評となっております。

48ページの教育委員会の活動といたしましては、注目すべき成果と課題として、5点取り上げられており、まず、成果としまして、1点目は、いじめ防止に向けた活動を停滞することなく継続的に推進してきたこと、2点目は、スクールソーシャルワーカーの増員など、学びを支えるセーフティネットの充実を継続的に図ってきたこと、3点目は、ICTを活用した学習指導に関して、教職員に対する支援を着実に展開してきたこと、4点目は、地域や保護者の方々との連携や協働を、継続的かつ組織横断的に推進していることについて、評価をいただいております。

一方で、課題としましては、生涯学習に関する取組が、委員会にとって今後の主要な課題の一つとして位置づけられ得るということで、生涯学習施設で実施する講座等の参加者数や講座の修了生の成果発表者数が、令和3年度以降、目標値を大幅に下回っている現状があり、コロナ禍による影響が大きいと考えられるが、他の諸要因の可能性も検討する必要があるとして、この点に関しては、これまで委員会が蓄積してきた自律的なPDCAの営みの知見を生かすことによって、何らかの取組が実施・展開されることを期待している、との総評をいただいたところです。

また、49ページの全体といたしましては「コロナ禍による逆境に容易に屈することなく、多方面にわたる諸活動に対して、真摯な態度で着実に業務ないし役割を遂行してきた教育委員会の営為とその成果が、本報告書に記されている」との評価をいただいているところです。

教育委員会事務局といたしましては、教育振興基本計画の実現を図るため、今後も、PDCAサイクルに基づく自己点検・評価の推進と、各種施策・事業の改善と発展に向けた取組を展開してまいります。

以上、甚だ簡単な説明ではございますが、提案理由の説明とさせていただきます。よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願いいたします。

【浦上教育長】 ありがとうございます。今、詳細な説明がありましたが、全体を通して、お気付きのことや、感想・意見がございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【岩井委員】 感想です。振り返りますと、あの令和2年から約3年間、新型コロナウイルス

ルス感染症拡大の影響から、様々な取り組みに制限がかかったり、新たな業務が付加されたりするなど、非常にかじ取りが難しい状況が続きました。しかし、令和5年度に入り、ようやくコロナも5類に移行し、行事やイベントなども再開に進みました。そんな激しい変動の中、「八尾市教育振興基本計画」の4つの基本方針に則り、最大限、それぞれの取り組みの充実を図ろうと、事務局の皆様が本当によく頑張ってください、その総括として、この報告書を出していただいたことを思いますと、教育委員の一人として、心から敬意と感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

外部の学識経験者の先生方からの講評においても、委員会の自己点検・評価の内容は、概ね妥当であると評価していただいております、私自身もよかったな、ややほっとしたというのが本音のところでございます。

また、評価と同時に、課題も残っております。各事業の取組のP D C Aのサイクルは、少しの間も途切れさせてはいけないとも思っておりますので、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

そして、学識経験者の先生からの講評の中でご指摘いただいている「生涯学習に関する取組」についてですけれども、個人的なことで申しますと、「フェスタかがやき」の発表会に、家族が出ていまして、私も当日、それを見に行ったのですが、以前と比べて随分小規模になったなと感じました。また、最近では、民間の文化教室でも、学習者の数が減っていて、講座によっては、学習者が集まらず閉じられる講座も出てきているというようなことも聞きます。このような状況は、コロナ禍の影響が大きいとは思いますが、時代の変化も著しく、他の要因も様々あると思いますので、速やかに検証を進めて、今後の方向性をしっかり出していくことが必要なことだと思っております。

【浦上教育長】 ありがとうございました。今、岩井委員がおっしゃっていたとおり、この報告書には、課題の部分も合わせて出てくるので、生涯学習に関しての課題認識について、事務局から感想をお願いします。

【永澤生涯学習課長】 岩井委員のご指摘のとおり、生涯学習に関する取り組みとしては、コロナ禍の影響があったとはいえ、利用者の人数がなかなか伸びてこない。岩井委員のお話にもあったように、民間でもなかなかしんどい状況ということは、私達も聞いております。これについては、どういったことを利用者が求めておられるのか、その辺りを考えないといけないということで、アンケート調査等を実施させていただき、現状の生涯学習が今後進むべき方向性を確認し、それに合わせて、後は施策を展開していきたいと考えています。

【浦上教育長】 ありがとうございました。副教育長どうぞ。

【太田副教育長】 補足でございます。例年、点検評価の中で、生涯学習が取り上げられることは少なかったのですが、このように点検評価の中で、きちり見ていただいているということにありがたいと感じております。岩井委員にご意見いただいたとおり、生涯学習については、今、時代の変革期というか、流れが変わってきているところにあるのかなと認識しております。先ほど、永澤課長が申し上げたように、今後の生涯学習のあり方に

については、しっかり教育委員会としても検討していく必要があるかと思っておりますので、今回の点検評価でいただいたご意見、また教育委員の皆様からいただいたご意見を受け止めて、さらに新たな生涯学習に向けた取り組みや検討を進めてまいりたいと考えております。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【水野委員】 この報告書で、学識の先生方の、48ページ、49ページも含めて、少しコメントや感じたことを話させていただきます。

まず、教育委員会の事務局の先生方、もちろん学校現場の先生方も、自己点検をしていただきましてありがとうございます。本日の教育委員会議に至るまでも、様々議論する場面もいただきながら、八尾市が今後どのように進んでいくかということの評価ですので、今後すごく大事になってくると思います。

48ページに5点コメントがありました。今の岩井委員からご意見があった生涯学習もありますが、3つ目のICT教育の取り組みというところにも、コメントが入っております。特に、一部の教職員はICTを活用して、児童生徒同士が考え方を共有するような指導等の面で課題があると、先生方が認識しているということです。これは、非常に課題があると、学識の先生方が認識しているわけではなく、課題があるということを学識の先生方が認識しているということが、非常に大きなポイントです。これは、実は基本方針の1の、報告書の15ページ、授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができると思う児童・生徒の割合と関係します。これは、全国学力学習状況調査からの抽出ということで、子どもたちは、それに対しては、非常にポジティブなので、先生方の認識と子どもたちの認識にちょっとギャップがありますが、高安小中学校で私が実際に授業を見学したときもそうでしたが、先生方が上手にICTを使いながら、インターネットにアクセスしながら授業を展開していくということが、もっとより多くできるようになると、これは探究とか参照など、要するに、何かものを覚えるのではなく、適切な情報を取りに行く能力であるリサーチ能力や調べる能力などが重要になってくると思います。

今、教育主任学会で、私は研究委員を務めていますが、そこでも、実は人工知能を使った様々な検索システムが、授業づくりにどう影響するかということで、今度ちょっとシンポジウムを、非会員に向けても行うという計画をしています。多分、この10年で、授業の在り方が大きく変わってくると思います。だから、教員はファシリテーターというか、子どもたちが学べるようなコーチみたいなあり方が、もっと鮮明になってくると思います。そういう意味では、授業のあり方そのものを抜本的に改革していくようなことになると思います。そのため、学力の定義も、これから変わってきますし、来年から理科がCBTで、コンピューターで回答するようになるため、今後はペンや鉛筆で書くというよりは、コンピューターに打ち込んでいくことが多くなるでしょう。今後、受験等もすべてコンピューターで瞬時に回答が出てくるようになると思います。そういったときの教育がどうなっていくのかということは、私も想像できませんが、今後はそういう方向性になってくると思います。

もう1点お話をさせていただきます。大学で、私が授業をしているとき、学生がパソコンを開いていますが、こちらからはどんなことをしているか確認はできませんが、授業に係

るリサーチをしていると思います。このような状況を見ると、本当にこの授業のやり方はディスカッションを多くしたり、エンゲージメントを高めるようなものにしないといけないと思います。小・中・高・大学の授業の在り方は、生涯学習の研修の在り方にもすごく関係してくると思います。今回の点検評価の自己点検や学識の先生方の評価を読みながら、そのように連想しました。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【村本委員】 岩井委員もおっしゃっていましたが、生涯学習について、3年間に亘り、目標を下回っていることは、報告書にも書いてありますように、コロナの影響は非常に大きいというふうに思います。コロナ禍により、人の動きが非常に少なくなり、出歩くことが少なくなったという習慣が付いてしまった結果だと思っております。

生涯学習でも民間のものが随分減っているということで、私たち企業の関係していることでも、色々な展示会がありましても、出品する企業も減っていますし、出品の方法もコロナ前よりも地味になり、参加する観客も減っているというような状態です。もちろん、コロナの影響によってリモートが随分増えたこと影響していると思いますが、やはりリモートでは表現できない、実際に現物を見てもらわなければ理解してもらえないという物も多くあります。コロナ前のような状況に少しでも戻って、この生涯学習に係る数値が少しでも改善されるように、頑張っていたいただきたいと思います。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【藤井委員】 私も学識の先生方からご指摘いただいた生涯学習のことについては、本当に今後も市民がどのようなニーズを持っているのかということ、きっちりと聞き取りながら、取り組んでいかなければならないということ、改めて認識した次第です。

もう一つ、学びを支えるセーフティネットの充実を計画的に図ってきたということが評価いただいているところが気になりました。スクールソーシャルワーカーも9名となり、それによって不登校児童・生徒への課題の対応や改善に繋がり、社会的自立に繋がる活動を展開することができたというふうにご評価いただいているということで、そういう子どもを育てている保護者の方々にも、心強いことだろうと思います。

引き続き、こういった動きや取組を続けていき、ますます八尾市の不登校児童・生徒への対応の充実を図っていただければなど、そのために私たちもいろいろ勉強もし、意見交換もしていきたいなというふうに思いました。

【浦上教育長】 ありがとうございます。今、教育委員の皆様から様々な意見をいただきましたので、私の方からその感想を述べさせていただきます。この数年、家庭環境や社会環境が大きく変化し、その影響を最も受けているのは子どもの教育だと思います。教育委員会では年度毎に事業計画を作成しますが、それは単年度毎に考えるのではなく、もっと先の3年後、5年後、10年後のことを念頭に置いて作成するように私は事務局へ常日頃から伝えていきます。教育というものは単年度ごとに達成できるものではないため、何年も先を見据えて、一つ一つ種を巻き、その花を最後は咲かせていくという、そういうスタン

スで計画を立てなければならないと私は思います。

もう一つは、新しい教育の在り方について、これから確実に変わっていくと思います。先程、水野委員がおっしゃっていましたが、どんなことでもICT教育が充実していき、大阪府の入試選抜の出願においても、ICTが活用されています。その他にも、学力調査もICTが活用されるなど、指導方法が変わっていきます。だから、教育の在り方としても、一つの1時間の授業でも、今までは教師が主体でしたが、これからは子どもたちの学びの保障イコール子どもたちがしっかりと学ぶためには、子どもたちが自主的に学習に取り組んでいかなければならない。これはすごく大きな教育に関わる問題だと思います。私たちの時代は、読み・書き・そろばんが、とても大事だと教わりましたが、今の子どもたちはICTを活用するため、この辺りの力が不足している。ICT活用もとても大事なことはありますが、子どもたちが大人になり、手紙を書くことができない、書き方も分からないということになるのは良くないと私は思います。

だから、そういう大事にする必要がある部分は、継続しながら、そして新しい教育のあり方も探っていくという、そんな時代をこれから迎えていくわけです。時代とともに、子どもが抱える課題も変わってきています。学級崩壊や不登校など昔とは確実に状況は変化しています。だから、そういうことも踏まえて、様々なことを踏まえながら、教育に係る事業計画を策定する必要があると事務局に伝えていきます。教育委員会が一致団結しながら頑張っていきたいと思っていますので、教育委員の皆様もご理解のほうをお願いしたいと思います。

他に委員の皆様方、どうでしょうか。他に質疑等ないようですので、採決のほうに移らせていただきます。議案第23号につきまして、原案どおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員、異議なしと認めます。よって、議案第23号「令和6年度教育委員会の点検及び評価に関する件」につきましては、原案どおり可決いたしました。ありがとうございました。

【浦上教育長】 それでは、続きまして、議案第24号「八尾市教育振興基本計画審議会委員の委嘱の件」につきまして、審議をいたします。

提案理由を川添課長より説明願います。

【川添教育政策課長】 それでは、ただいま議題となりました議案第24号「八尾市教育振興基本計画審議会委員の委嘱の件」につきまして、ご説明いたします。

本件は、教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第7号の規定により、委員会の議決を求めるものでございます。

提案理由でございますが、八尾市教育振興基本計画後期計画策定のための調査、審議をするにつき、八尾市教育振興基本計画審議会規則第3条の規定に基づき、委員を委嘱する必要があるため、本案を提出する次第でございます。

それでは、お手元の「八尾市教育振興基本計画審議会委員名簿（案）」に基づきまして、

ご説明申し上げます。

まず、学校教育の関係者として、八尾市小学校校長会、八尾市中学校校長会から各1名、次に、社会教育の関係者として、八尾市社会教育委員、八尾市図書館協議会から各1名、家庭教育の向上に資する活動を行う者として八尾市PTA協議会から1名、学識経験のある者として大学関係者の方3名、その他、教育委員会が必要と認める者として、公募市民2名の計10名の方を審議会委員としてご提案するものでございます。

任期につきましては、令和6年8月2日から八尾市教育振興基本計画の策定に係る答申を行う日までの期間でございます。

以上、誠に簡単な説明でございますが、提案理由の説明といたします。よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願いいたします。

**【浦上教育長】** どうもありがとうございました。

ただいまの提案理由の説明がありましたが、委員の皆様方、何かご質疑ございませんでしょうか。

**【岩井委員】** 委員の中に、公募市民の方が2名いらっしゃいますが、この2名はどのようにして選ばれたのか教えていただけますでしょうか。

**【川添教育政策課長】** 公募市民の選定経過についてですが、まず、市政だよりの6月号、そして市のホームページで、5月20日（月）から6月7日（金）までの期間、年齢が18歳以上で、本市の区域内に住所を有する方を対象に募集いたしまして、2名の方からご応募いただいたところです。

なお、ご応募いただく際には、申込書と「未来を切り拓く八尾の教育へのわたしの思い」ということをテーマにした論文を提出していただいたところです。その後、選考委員会におきまして、申込書と小論文の内容を基に、総合的に判断しまして、今回、委員候補者として2名選考したところでございます。

**【岩井委員】** ありがとうございます。この2名は、何かこれまで教育に関わるようなことをしてこられた方なのでしょうか。

**【川添教育政策課長】** まず、西村 兼一氏については、過去に私立の高校の教員をされていたというご経歴、そして私塾を設立されまして、25年間という長きにわたりまして、小学生・中学生・高校生の学習指導をされてきた経歴があります。また、その後、福祉系の専門学校の教員として勤めながら、社会教育事業にも参画されるなど、教育に関する経験が非常に豊富な方であり、今回、本市の計画策定のために、貢献できればというところでご応募されたところです。

もう一方、山本 起世美氏については、現在、東大阪市の小学校の指導教諭をされておりまして、お住まいが八尾市ということで、八尾市民として、八尾市の教育に貢献できる機会ということでお考えになられて、今回ご応募されたところです。

**【浦上教育長】** ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【水野委員】 学識の先生方が3名いらっしゃいますが、1名は先程の点検評価報告書のコメントをいただいた教育学部の先生、もう1名は先程課題に挙げた生涯教育の専門家の先生、そして最後に心理学の先生ということで、特別支援教育に大変詳しい3名の先生方で構成されています。そういった意味で、セーフティネット、それから生涯教育、それから教育の基本的な、先ほど教育長が言われたような教師の役割。その読み書きそろばんということも大切にしながらICTをどう対応していくのかということ、非常にバランスの取れた方々3名を指名していただきまして、大変ありがたく思います。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。ないようであれば、採決の方に移らせていただきます。

議案第24号につきまして、原案どおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員、異議なしと認めます。よって、議案第24号「八尾市教育振興基本計画審議会委員の委嘱の件」につきましては、原案どおり可決いたしました。

太田副教育長と川添課長は、自席にお戻りください。

それでは、公開の部分はこれで全て終了しましたので、申し訳ありませんが、傍聴の皆様はご退場いただきますよう、よろしくお願いたします。

議事の都合により、暫時休憩します。再開は10分後といたします。

(傍聴者 退室)

(以下、非公開審議)